

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	現代社会と環境 (Contemporary Society and Environment)	新座(Niiza)	
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	環境問題の深層から社会のあり方を問い直す		
担当者名 (Instructor)	穴見 慎一(ANAMI SHINICHI)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	CMP2200	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)			

#### 授業の目標(Course Objectives)

環境破壊が、実は自然環境だけではなく、人間自身とその文化・社会にまでおよぶものであるという「環境問題の構造的な連関」を理解する。また、その中で「現代社会の問題の本質」を見極め、「環境とは何か」「人間とは何か」を問い直しつつ、日本社会のあるべき姿を考える。

Students will understand the "structural relationships of environmental problems," by which environmental destruction actually extends not only to the natural environment but to humans themselves and their cultures and societies. In addition, we will identify "the essence of the problems of modern society" within this, reconsider the questions "What is the environment?" and "What is a human being?" and think about the ideal form of Japanese society.

#### 授業の内容(Course Contents)

環境破壊における過去の教訓に学び、「足尾銅山鉱毒事件」、「水俣病事件」、そして「フクシマ」を貫く現代社会の問題の本質に迫る。特に、「3.11」から5年を待たずして原発が再稼働された今日、「現代社会と環境」の視点から「フクシマ」の意味を明らかにすることを試みる。また、「真の文明とは何か」を多面的に問う作業を通じて、問題の解決に向け、農業という人間の営みのもつ可能性へと議論を接続する仕方、今後の日本社会の展望を探りたい。

Students will learn from the lessons of past environmental destruction, and approach the essence of the problems of modern society that run through the "Ashio copper mine poisoning incident," the "Minamata tragedy," and "Fukushima." In particular, now that nuclear power plants have been restarted in less than five years from "3.11," we will try to clarify the meaning of "Fukushima" from the viewpoint of "modern society and the environment." In addition, through the work of questioning "What is a true civilization?" from multiple perspectives, in order to solve the problem, I would like to connect the discussion to the possibility of the human activity of agriculture, and explore the future prospects of Japanese society.

#### 授業計画(Course Schedule)

1. ガイダンス
2. 現代社会の構図 1: 水俣病事件に学ぶ
3. 現代社会の構図 2: 人間にとって「責任」とは何か
4. 現代社会の構図 3: キャピタリスト・デモクラシー(資本主義的民主主義)の源流を辿る
5. 現代社会の構図 4: 人間にとって「自由」とは何か
6. 中間まとめ
7. 現代社会の根本問題 1: 「所有」という神話
8. 現代社会の根本問題 2: 「自己責任」論
9. 現代社会の根本問題 3: 環境破壊の深層
10. 現代社会と環境 1: 東日本大震災を考える
11. 現代社会と環境 2: 「フクシマ」を受けとめる
12. 現代社会と環境 3: 原発問題の深層に迫る
13. 現代社会と環境 4: 環境破壊の教訓に学ぶ——人間とは如何なる存在か
14. 現代社会と環境 5: 人新世に「農的社会」の可能性を問う

#### 授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

基本的なことは初回のガイダンスで指示する。また、必要に応じ、他の回でも適宜指示する。

#### 成績評価方法・基準(Evaluation)

筆記試験(Written Exam)(60%) / 小レポート(20%) / リアクションペーパー(20%)

#### テキスト(Textbooks)

1. 澤 佳成、2010、『人間学・環境学からの解剖—人間はひとりで生きてゆけるのか』、梓出版社 (ISBN:978-4-87262-232-4)

テキストの入手方法については初回授業時に指示する。

#### 参考文献 (Readings)

1. 尾関周二・亀山純生・武田一博・穴見慎一編著、2011、『〈農〉と共生の思想—〈農〉の復権の哲学的探求』、農林統計出版 (ISBN:978-4-89732-229-2)
2. 尾関周二・武田一博編、2012、『環境哲学のラディカリズム—3.11 をうけとめ脱近代へ向けて』、学文社 (ISBN:978-4-7620-2320-0)
3. 上柿崇英・尾関周二編、2015、『環境哲学と人間学の架橋—現代社会における人間の解明』、世織書房 (ISBN:978-4-902163-78-0)

各回の講義における参考文献はその都度提示する。

#### その他 (HP 等) (Others(e.g.HP))

#### 注意事項 (Notice)